

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
老施協総研 平成29年度調査研究助成金事業

～日本語学校で学ぶ外国人に対する  
介護に関するアンケート結果報告書～

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会

## 目 次

○ご挨拶	1
○施設回答	3
○日本語学校回答	11
福島日本語学校	14
新白河国際教育学院	17
東洋国際文化アカデミー	19
仙台ランゲージスクール	21
環球日本語学習院	24
東北多文化アカデミー	27
○アンケートの結果について	29
○あとがき	30

## ご 挨拶

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、社会福祉法人福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会の事業推進につきましても、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、公益社団法人全国老人福祉施設協議会の「老施協総研 平成 29 年度助成事業」といたしまして、福島県内及び近県の日本語学校で学ぶ外国人に対し、介護に関するアンケートを実施いたしました。震災・原発事故後の福島県においては介護人材不足が深刻となっており、各会員施設におきましても介護職員の確保が大変困難な状況となっております。

一方、国では「介護離職ゼロ」を目指し更なる増床を進める方針を打ち出しており、今後は外国人の介護職員によるサービス提供が必要不可欠であると思われまます。

多くの会員施設の方々には、外国人の介護職員を雇用することへの不安をお持ちのことと推察いたしますが、ルーティン業務や ICT による記録の導入等を検討し、「覚悟と寛容」を持った外国人介護職員の雇用が避けられない時代となっていくものと思料されます。

本アンケートは、今後の外国人が介護職員になるための支援制度の構築や育成・雇用に至るまでの参考資料としてご高覧いただければと思います。

結びに、関係各位の今後、益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げご挨拶といたします。

平成 30 年 1 月 31 日

社会福祉法人福島県社会福祉協議会  
老人福祉施設協議会 会長

石 川 博



# 施設回答

【老健協会員施設および老健協会員施設 回答施設 151施設】

# 外国人の方々に対する介護に関するアンケート

【会員施設、老健施設あわせて151施設回答】

問1 在留資格「介護」のある者を介護職員として受け入れたいか

	受け入れたい	受入困難	無回答	合計
回答数	40	111	0	151
比率	26.5%	73.5%	0.0%	100.0%

問1で「受け入れたい」と回答した施設【40施設】

在留資格「介護」者が入職する場合、生活環境等の準備はどこまでできるか（複数回答可）

	宿舍等	日常電化製品	その他	無回答	合計
回答数	18	13	12	4	47
比率	38.3%	27.7%	25.5%	8.5%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆準備は不可能、難しい（3）
- ◆現状では何ものなし
- ◆生活支援までは検討していない
- ◆特になし
- ◆困難
- ◆家賃支援等
- ◆生活環境の支援は困難
- ◆住居手当
- ◆一般職員と同じ
- ◆アパート貸与

〈意見等〉

- 宿舍等の近隣 AP の紹介、斡旋可
- 日常電化製品の貸出可

問1で「受入困難」と回答した施設【111施設】

受け入れに際し、何らかの助成等があれば受け入れたいと思うか

	受け入れたい	受入困難	無回答	合計
回答数	30	77	4	111
比率	27.0%	69.4%	3.6%	100.0%

〈意見等〉

- 助成等の内容にもよるが、難しい。
- 内容により検討。
- 状況に応じて対応していく予定。

問2 在留資格「介護」を取得するための、在留資格「留学」生が、入職前の在学期間中に専門学校等に係る学費等の支援等は可能か

	支援可能	支援する職があれば	支援困難	無回答	合計
回答数	3	39	105	4	151
比率	2.0%	25.8%	69.6%	2.6%	100.0%

問2で「支援可能」と回答した施設

① 学費支援ができる場合…

全額	1/2程度	1/3程度	その他	合計	
1	1	0	1	3	
33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%	※99.9%

〈その他回答〉

◆年額、学費等（700,000円まで）

当法人の奨学金制度を活用可。（卒業後、当法人に就職すると返済も免除）

② その他支援ができる場合…

交通費	家賃	水熱光費	食費	その他	合計
1	0	0	0	0	1
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

③ 支援可能な期間…

3年	2年	1年	その他	合計
0	0	1	0	1
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

問3 在留資格「留学」生が、専門学校等在学期間中に仕事を提供（法的範囲内）することは可能か

	可能	困難	無回答	合計
回答数	59	90	2	151人
比率	39.1%	59.6%	1.3%	100.0%

〈意見等〉

- 介護以外のパート
- 休日のアルバイト等可
- ボランティアとしてなら可能

問4 在留資格「介護」による介護職員の受け入れに際し、国又は県の支援制度があれば利用したいと思うか

	利用する	利用しない	無回答	合計
回答数	76	63	12	151
比率	50.3%	41.7%	8.0%	100.0%

〈意見等〉

- どちらとも言えない。条件によると思う。
- 必要検討。
- 内容により検討。
- 法人としての方針が決まっていないので分からない。
- 今後検討。
- 状況に応じて対応していく予定。

問5 在留資格「介護」者や在留資格「留学」生を受け入れにあたって、不安、心配事、気づいた点…等  
※内容につきましては、原文のまま記載させていただいております。

- ◆在留資格者の生活全般に関する援助、就学資金の援助等の負担が大きく、また資格取得後の将来に渡って、継続就業する見込みが低いため、一施設としての投資が見合わない。
- ◆今、人手が必要であり、その働き手を他国の労働者に求めるのは必要なことだと分かります。  
その働く者が、その地域文化や社会的なルールなど身に付けるまではジョブコーチのように一定期間ついていることが必要と思います。今の現場にその余裕のある介護事業所の余力がなく、厳しい現状に悩んでいます。
- ◆不安な点…
  - ①留学生に日本語の教育は必要か。必要であるならどのように行うか。
  - ②病気やケガをした際に、医療機関を受診できるか（公的医療保険に加入できるか）
  - ③日本人職員が担当業務で多忙な中、日常生活の援助をどこまでできるか。
  - ④対象者が努力しても数年で帰国してしまうなら企業側も失望し後に続かなくなるのではないか。
- 提案…
  - ①困ったときに母国語で相談できる窓口を企業単位で準備するのは限界があるため、関係機関や業界団体等の単位で担当者を設けてはどうか。
  - ②年に1～2回程度で、一緒に福島にきたグループや祖国が一緒の人同士で話しが出来る場を提供してはどうか。
- ◆外国人技能実習制度や在留資格やEPAの内容が良く理解できていない。説明を受ける機会もない。
- ◆当地方には専門学校がない。
- ◆どの程度の負担があるのか全く理解していない。
- ◆受け入れのためには、人材や教育が必要であり、すぐできることではない。まだまだ介護職員の教育の差があるため、まず介護職員の教育充実が必要と思われる。
- ◆受け入れには住宅の確保が伴うこととなりますが、レオパレスだと月10万円ほどかかりますが、住宅支援がないとキツイです。
- ◆報道によると、1～2年で退ける者が多いのでリスクが高いです。



- ◆言葉の障害（特に方言）が高いし、文化の創意に教える側のストレスが高じる。
- ◆今現在のところ、介護職員の確保ができていないこと、職員間のコミュニケーション等も含め、考えると受け入れは難しい。
- ◆指導できる人材がいないため、受け入れは難しい。
- ◆文化の違いが一番難しいのではないかと思います。
- ◆人材不足の中で、指導するのに時間がかかる。
- ◆地元、市町村と連携できればと思う。
- ◆やはり言葉の心配が不安と考えます。
- ◆当該施設は市の直営の養護老人ホームです。「介護」ではなく「支援員」ですが、募集しておりません。
- ◆コミュニケーション能力。宿舎等の支援での費用負担。
- ◆考え方の違いや生活習慣の違い等について少し不安がある。
- ◆受け入れる施設の職員体制（指導者）が整っていない。
- ◆言葉の壁。文化の違い。日本人から差別を受けないか。日本人職員や利用者と上手く人間関係を築けるのか。
- ◆現状では、事業所内の指導、研修に力を入れているため、外国人までの指導、研修は困難。  
今後も職員育成に力を入れたいため、助成があっても受け入れは考えていない。
- ◆コミュニケーションの問題の解決。
- ◆生活環境まで面倒を見るのは困難。（場所がない、費用がない）
- ◆受け入れたいと思うが、現実には難易度が高い。
- ◆責任ある行動がとれるか。連絡等が確実にとれるか。諸問題が発生したときにバックアップ体制があるのか。
- ◆コミュニケーション間の壁に不安を感じる。
- ◆今いる日本人介護者の教育で手いっぱい。
- ◆福島県において、在留資格「介護」者等に基準が明確でないことが不安材料です。  
また、人と人との接し方が主の業務ですので、日本語能力がN2以上が必須になってくると思います。  
今回の設問にはEPAについての設問がなかったので、その部分もお伺いしたいです。現状では、受け入れ可能ですが、不安が多すぎて、即受け入れにはならないです。
- ◆信頼のある行政指導に頼らざるを得ないので、よろしくお願いします。
- ◆介護養成校が事業所近辺になく、遠距離通学となってしまう。在留資格「留学」生を中心とした養成校の設立を考えれば、教育体制も「留学」生にとって良い環境となり、介護の担い手不足、人口減少地域にとっても活気が出るかもしれない。
- ◆全老健でもモデル事業を始めたばかりで、今後の団体からのアドバイスを受けて検討したい。  
（失踪者も後を絶たない）また、法人施設単独での受け入れについては、様々な面で準備が必要となります。（宿舎、学校の手配、通学の支援（送迎含め）、施設でアルバイトするなら専任の担当をつけるなど）このため、国、県はもちろんのこと、県内の3施設ごと、また老健団体ごとに協議会レベルでハード面とソフト面の相互乗り入れ補充関係があってこそ受け入れに前向きになることができるのではないのでしょうか。
- ◆今後介護を提供していく人材が減っていくので外国の方の介護職員を採用していかななくてはと思います。生活や言葉の問題で施設がどれだけ支援できるかが不安です。

- ◆当苑では来年度 EPA の受け入れが決まっています。国際貢献として協力したいですが、EPA、在留資格「介護」技能実習制度の一つで対応したいと考えています。いずれにせよ、受け入れチームの構築をしなくてはならないと考えています。
- ◆外国人の雇用に関するルールや届出、手続き等について全く知識がない状態。  
ハローワーク等に問い合わせる自主的に取組む予定だが、できれば県老協主催の説明会や研修会等が企画されると助かります。
- ◆英語が通じれば良いが、ベトナムなど英語が通じないので、日本語がある程度話せないとコミュニケーションをとるのが難しいのではないかと不安に思うことがある。
- ◆嫌なことがあると逃げ出してしまうのではないかと不安がある。
- ◆トラブル等（病気、ケガ他）が発生した場合の対応。
- ◆日本語能力N2以上が前提であるが、やはりコミュニケーションに不安が残る。また、就労期間が最長5年と限定されていることも、慣れた頃に帰国することになり、この点も採用に消極的になる要因である。
- ◆現在の当法人の状況では受け入れ困難だと思われます。しかし人材不足等のことを考えれば、数年以内には受け入れを検討することになると思います。  
当法人の地域性を考えて、生活環境の準備や支援等について、困難が予想されますが、必要になる時期は近いと思います。
- ◆在留資格「介護」、「留学」者が不安なく就労できるように県等に相談できる窓口や人員を配置していただけるとお互いに安心できると考える。
- ◆宗教、文化、価値観の違いでのトラブル。方言への対応が難しい。
- ◆将来の推測データなどをもとに、介護業界において外国人なども活用しなければならない状況となるならば、国策としてしっかり方針を示し、民意任せにせずに取り組んでほしい。
- ◆介護職員不足の状況であり、受け入れはしたいと思いますが、居住環境（AP等）の整備が進んでいないことから、現時点での受け入れは困難であります。
- ◆入所者、職員とのコミュニケーションに不安。
- ◆在留資格者と日本人の生活習慣の違い。
- ◆施設の近隣に AP 等がないため。マイカー通勤が出来ないと考えられるため。
- ◆制度自体よくわからない中で、安易に受け入れ可否の判断はできない。
- ◆山間部の施設のため、交通や生活の不便さを感じ、なかなか定着できないのではないかと思います。
- ◆高齢者や職員とのコミュニケーション
- ◆介護記録の入力
- ◆生活環境の違い
- ◆中小零細の事業所（法人）にとっては、受入体制を整えることが難しいと考えます。（指導教育面、金銭面、情報、人員配置等）ので行政面での関わりを強くすることが重要かと思えます。
- ◆組合等に参加し、料金等が発生するのではないかと。
- ◆語学レベルはどうか。利用者、職員とのコミュニケーションはどうか。
- ◆フルタイムでの受け入れは可能か。
- ◆語学力…地方では語学ができない、または、低い場合、高齢者が話したがらないこともある。  
就職者の支援…就学ができない（試験に不合格）場合は、援助金は戻らないのですね！？  
学校…語学は別のところと思うが、学校は地元の学校でも良いのか？

- ◆最近当法人でも中国、フィリピンから結婚等により来日された方々を雇用していますが、皆さん元  
気よく頑張っておられます。
- 共通する課題は日本語の習得です。言語的には問題はないのですが、職員として働き、ステップア  
ップしていくためには、記録ができる程度の日本語のマスターが必要になってきます。
- 日本語教育についての何らかの支援があればいいと思うのですが…。
- ◆養成校での修学後や就職後すぐに帰国してしまわないが心配である。
- ◆習慣、宗教上の違いに対応するためのサポート方法。
- ◆今後は外国人のサポートは必須とならざるを得ないのには目に見えているので、職員が一丸となっ  
て対応する必要がある。そのための現職員に対するサポート体制確立のため、受入前の受入側職員に  
対する事前研修もお願いしたい。
- ◆介護福祉士の数が規定の数を上回っていても、介護福祉士以外の介護者を増員すると、介護福祉士  
の占める割合が低下してしまい、加算がとれなくなってしまうため、資格のない介護職を増員する  
ことには制限があり、また、やっと慣れたところに帰国するのはとても残念。
- ◆日本語能力
- ◆生活習慣、文化の違い⇒現在、雇用の職員とのコミュニケーション能力。
- ◆期間が限られており、入居者に対し、継続して介護力が期待できない。
- ◆トラブルが生じた際の意志の疎通等に不安あり。
- ◆利用者様とのコミュニケーションや意思疎通の面で不安があります。また、利用者様側が外国人の  
方に介護されることに対し不安を抱く場合があるのではと懸念します。
- ◆在留資格介護による職員受入に対する国や県等の支援制度ができた場合、手続きや書類提出等が難  
しいようですと、事務が煩雑となり、利用するのを控えてしまうのではないかと懸念します。
- ◆文化の異なる国から受け入れるのは、なかなか難しいと思います。衣食住、言葉、宗教等。  
受け入れるためには時間と労力がかかりすぎると思います。メンタル面も考えると今の当施設での  
対応は難しいと思います。前向きな考え方でなく申し訳ありません。
- ◆現在、人員確保が困難な状態が続いているため、在留資格者受入れは有効活用する必要があるとは  
考えます。しかしコミュニケーション、接遇をはじめ介護職に求められるスキルを取得するまでの  
カリキュラム作成を当法人では未着手の状況です。
- ◆言葉、会話の理解度がどの程度あるか。利用者や職員との意思疎通が可能であるか。  
日本での生活習慣は大丈夫か。
- ◆ほとんどの外国人の方が早い段階で国へ帰っている調査報告を見ると、真剣に検討するのが難しい。
- ◆コミュニケーション力が一番心配です。日本語は方言や地域の言葉まわしもあり難しいので。
- ◆公共交通機関が殆んどない地域に施設があるため、外国人の受け入れに対し、超えるべき課題が沢  
山あると思われます。  
また、在留資格「介護」につきましても、費用と時間がかかりすぎると考えております。
- ◆直接施設で雇用するのではなく、派遣という形をとってほしい。
- ◆問1で「在留資格者には、常識としてここまでの準備はしたほうが良い」と言ったことも良く分か  
らないので、事例等、情報収集してみたいと考えます。
- ◆一度、須賀川の「協同組合」の説明会に参加し、ベトナム人の勤勉さと性格の良さは知っております。  
募集しても応募が殆んどない現状であり、ぜひ受け入れたいと思います。  
制度の確立をよろしく申し上げます。

- ◆言葉（方言）が理解できるのかが不安。
- ◆日本語で介護福祉士取得のハードルが高い。
- ◆夜間帯や災害など緊急時の対応。技能レベルの均一化。高齢者の言葉（方言）を理解できるか。
- ◆言葉、習慣の違いについて現場が対応できるか不安。指導者を長期間つけなければいけない。  
生活全般についてのサポートの必要性について不安。お金がかかる。
- ◆人材不足で大変困っています。しかし現場の状況から指導力に欠けるのではないかと思います。  
せっかく、外国人の方が介護に興味を示しても、残念な思いを感じさせてしまうのではないかと考えてしまいます。また、指導者側も利用者対応に追われる中、外国人の方の指導に対し、相当のプレッシャーがかかり負担が増すことも考えるとなかなか受け入れに積極的になれない状況です。
- ◆言語、生活習慣等の違いにより、業務上の意思疎通が図れるか心配である。
- ◆現在の介護の現場を見てみると、どこの事業所でも人材不足であり、人材不足解消のためには、外国人の就労も考えなければならないと思う。もちろん文化の違いや言葉が通じない等の不安が一番であると思うが、入居者に対しての思いやりや嬉しい気持ちがあれば出来ると思う。

# 日本語学校回答

【回答日本語学校数6校 回答人数437名】

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【回答学校：回答数437名】

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	298	121	18	437
比率	68.2%	27.7%	4.1%	100.0%

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？（複数回答可）

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	209	179	121	111	46	80	746
比率	28.0%	24.0%	16.2%	14.9%	6.2%	10.7%	100.0%

問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	287	44	30	76	437
比率	65.7%	10.1%	6.8%	17.4%	100.0%

問4 月10万円程度のアルバイト収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	246	134	57	437
比率	56.3%	30.7%	13.0%	100.0%

問5 問2を支援した施設で何年間働くことができますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	30	51	62	103	100	91	437
比率	6.8%	11.7%	14.2%	23.6%	22.9%	20.8%	100.0%

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	304	73	60	437
比率	69.6%	16.7%	13.7%	100.0%

問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	294	85	58	437
比率	67.3%	19.4%	13.3%	100.0%

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	294	84	59	437
比率	67.3%	19.2%	13.5%	100.0%

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	80	244	39	102	465
比率	17.2%	52.5%	8.4%	21.9%	100.0%

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【福島日本語学院：回答数101名】

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	85	16	0	101
比率	84.2%	15.8%	0.0%	100.0%

〈学びたくない理由〉

- ◆法律を学びたい。
- ◆違うビジネスを学びたいです。

〈学びたい理由〉

- 看護師になりたかったのですが、それにはお金がとても掛かり現実的でなくなったので奨学金があるのであれば介護士をやってみたいと思います。
- 老人介護に興味がある。
- とても重要な仕事であるし、私も介護士として人々を助けられるようになりたい。
- 体に不自由な人を、自立させる手伝いをするのはベストな仕事だと思う。私も学びたいと思います。
- 老人を身近に感じるので働きやすいと思います。
- 私は社会的人間なので他人を助けることが好きです。
- 資格が取れるというのは私たちにとってとても大きいことなので是非やってみたい。
- 老人と一緒にいるのが好きです。
- 仏教を信仰するようになってから老人を助けたいと思っています。
- これはとっても良い経験になります。そして私にとって大きなきっかけです。
- この職業経験を活かして母国で仕事ができれば幸いです。
- 学校だけが日本語を学ぶ場所ではないので、とても良いきっかけになります。とても興味があります。
- チャレンジになりますが、とても良いきっかけです。やってみたいです。

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？（複数回答可）

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	61	52	33	28	8	5	187
比率	32.6%	27.8%	17.6%	15.0%	4.3%	2.7%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆給付金、奨学金（2）
- ◆給費
- ◆働く前に、職員と面談をしてアドバイスなど話し合う機会が欲しいです。



問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	80	7	8	6	101
比率	79.3%	6.9%	7.9%	5.9%	100.0%

問4 月10万円程度のアパート収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	74	26	1	101
比率	73.3%	25.7%	1.0%	100.0%

問5 問2を支援した施設で何年間働くことができますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	7	8	15	23	37	11	101
比率	6.9%	7.9%	14.9%	22.8%	36.6%	10.9%	100.0%

〈回答〉

○今は分からない。

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	82	16	3	101
比率	81.2%	15.8%	3.0%	100.0%

〈働きたくない理由〉

◆時間がない。

◆法律関係の仕事をしたい。

〈働きたい理由及び関連〉

○同じ立場でスタッフは働く必要があると思うので同じ給料が必要。

○同じ給料がもらえるならとても助かります。

○日本の生活の出費は多いので必要。

○日本人スタッフと同じように働きたい。

○同じ給料であれば、私も頑張れます。

○老人が私たちの助けが必要なのと同時に、私たちが給料の助けが必要。

○みんな同じ給料が必要だと思います。

○給料が違くと外国人だと疎外された気分になります。

問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	83	16	2	101
比率	82.2%	15.8%	2.0%	100.0%

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	84	16	1	101
比率	83.2%	15.8%	1.0%	100.0%

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	23	68	9	7	107
比率	21.5%	63.6%	8.4%	6.5%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆何もない
- ◆国で働いている人に、その国のやり方を教えてほしい。
- ◆職場（2）
- ◆母国で老人ホームを作るための援助。
- ◆働く環境を整えてほしい。
- ◆私が母国に帰った時に、老人介護を教えられる環境づくり。

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【新白河国際教育学院：回答数22名】

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	15	7	0	22
比率	68.2%	31.8%	0.0%	100.0%

〈学びたくない理由〉

- ◆興味がない。
- ◆関係ない。(3)

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？（複数回答可）

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	14	15	14	10	1	2	56
比率	25.0%	26.8%	25.0%	17.8%	1.8%	3.6%	100.0%

問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	16	4	1	1	22
比率	72.8%	18.2%	4.5%	4.5%	100.0%

問4 月10万円程度のアルバイト収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	10	12	0	22
比率	45.5%	54.5%	0.0%	100.0%

〈回答〉

○10万円以上

問5 問2を支援した施設で何年間働くことができますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	1	2	7	7	3	2	22
比率	4.5%	9.1%	31.8%	31.8%	13.7%	9.1%	100.0%

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	15	6	1	22
比率	68.2%	27.3%	4.5%	100.0%

〈働きたくない理由〉

◆関係ない。(2)

問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	14	7	1	22
比率	63.7%	31.8%	4.5%	100.0%

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	17	5	0	22
比率	77.3%	22.7%	0.0%	100.0%

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	8	15	1	2	26
比率	30.8%	57.7%	3.8%	7.7%	100.0%

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【東洋国際文化アカデミー：回答数109名】

■109名提出のうち、13名は「英語が分からない」との回答のため、無回答となっております。

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	55	37	17	109
比率	50.5%	33.9%	15.6%	100.0%

〈学びたくない理由〉

◆仕事が大変です。

〈学びたい理由〉

○介護が好き。

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？（複数回答可）

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	25	15	20	12	6	55	133
比率	18.8%	11.3%	15.0%	9.0%	4.5%	41.4%	100.0%

問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	40	9	9	51	109
比率	36.6%	8.3%	8.3%	46.8%	100.0%

問4 月10万円程度のアルバイト収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	44	16	49	109
比率	40.3%	14.7%	45.0%	100.0%

問5 問2を支援した施設で何年間働くことが出来ますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	8	4	12	16	14	55	109
比率	7.3%	3.7%	11.0%	14.7%	12.8%	50.5%	100.0%

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	51	8	50	109
比率	46.8%	7.3%	45.9%	100.0%

問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	49	12	48	109
比率	45.0%	11.0%	44.0%	100.0%

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	54	7	48	109
比率	49.6%	6.4%	44.0%	100.0%

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	12	31	6	63	112
比率	10.7%	27.7%	5.4%	56.2%	100.0%

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【仙台ランゲージスクール：回答数100名】

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	52	47	1	100
比率	52.0%	47.0%	1.0%	100.0%

〈学びたくない理由〉

- ◆他のことを学びたい。(3)
- ◆あまり好きではない。(6)
- ◆興味がない。(3)
- ◆勉強したくない。
- ◆我慢できない。
- ◆介護はできない、働けない。(2)
- ◆他に学びたいことがある、目標がある。(2)
- ◆感心がない。
- ◆気が短い。
- ◆不器用
- ◆ビジネスを学びたい。
- ◆介護の仕事は女性に合うと思う。
- ◆複雑な問題があるから。

〈学びたい理由〉

- 祖父と祖母がいるから。
- この仕事が好きです。
- 日本で資格が必要なので働きたい。
- 日本はすべてのことにお金がたくさんかかるので、奨学金があればやりたい。
- 老人介護の知識を増やしたいのでやってみたい。

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？（複数回答可）

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	69	49	20	30	8	14	190
比率	36.3%	25.8%	10.5%	15.8%	4.2%	7.4%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆授業料
- ◆お金

問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	63	16	4	17	100
比率	63.0%	16.0%	4.0%	17.0%	100.0%

問4 月10万円程度のアルバイト収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	51	45	4	100
比率	51.0%	45.0%	4.0%	100.0%

問5 問2を支援した施設で何年間働くことが出来ますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	8	21	16	19	17	19	100
比率	8.0%	21.0%	16.0%	19.0%	17.0%	19.0%	100.0%

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	63	33	4	100
比率	63.0%	33.0%	4.0%	100.0%

〈働きたくない理由〉

- ◆介護の仕事は好きではない。(2)
- ◆恥ずかしい。
- ◆興味がない。(2)
- ◆介護は好きではない。(2)
- ◆働けない。
- ◆他の仕事がしたい。
- ◆介護の仕事はできない。
- ◆感心がない。
- ◆理想的な仕事ではないと思う。
- ◆不器用
- ◆給料が安いから。(2)

〈働きたい理由〉

- 体験したいと思ったから。
- 日本人と同じように働きたい。



問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	57	37	6	100
比率	57.0%	37.0%	6.0%	100.0%

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	48	44	8	100
比率	48.0%	44.0%	8.0%	100.0%

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	15	59	8	22	104
比率	14.4%	56.7%	7.7%	21.2%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆母国に学校をつくってください。
- ◆母国に老人介護施設をつくってほしい。

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【環球日本語学習院：回答数89名】

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	83	6	0	89
比率	93.3%	6.7%	0.0%	100.0%

〈学びたくない理由〉

- ◆違うビジネスを学びたいから。
- ◆その種類の仕事を好きではないから。

〈学びたい理由〉

- 老人介護に関心がある為やってみたい。
- 社会貢献をしたい為やってみたい。
- 老人を助けることが好きだからやってみたい。
- 介護福祉は立派な社会貢献事業で、私の感じている責任感からも日本の社会福祉を学んでみたいと思う。
- 人を助けることに幸せを感じるのでやってみたい。
- 老人を助けたい。
- 奨学金は、私たちが学ぶために必要なことである。私はお金が無いので奨学金で学べるのであれば、是非、老人介護を学びたい。
- 母国へ帰っても老人介護を続けたいと思うからやってみたい。
- 社会貢献活動をしたい。
- 人の面倒を見るのが好き。
- まだ日本の介護を学んだことが無いので、学んでみたい。
- 日本語が得意ではないので出来ません。しかし日本語を勉強するサポートがあればやってみたい。
- 私の祖父が亡くなった時から、老人を身近に感じるので、老人福祉の仕事はとても興味がある。
- 日本の介護を学んでみたい。
- 老人を助けたいと思う。
- 日本の介護を学びたい。
- 日本の文化が好きだから学びたい。
- 奨学金は留学生をやる気にさせる。
- 老人から教わるのが沢山あるから働きたい。
- 老人が好き。

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？（複数回答可）

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	28	35	27	22	21	3	136
比率	20.6%	25.7%	19.9%	16.2%	15.4%	2.2%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆お金（3）
- ◆全て（2）
- ◆交通費

問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	77	5	7	0	89
比率	86.5%	5.6%	7.9%	0.0%	100.0%

問4 月10万円程度のアルバイト収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	58	29	2	89
比率	65.2%	32.6%	2.2%	100.0%

〈回答〉

- 10万円はとても安い（2）
- 10万円以上（2）
- 安すぎる（3）

問5 問2を支援した施設で何年間働くことができますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	4	10	7	36	29	3	89
比率	4.5%	11.2%	7.9%	40.4%	32.6%	3.4%	100.0%

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	83	4	2	89
比率	93.3%	4.5%	2.2%	100.0%

〈働きたくない理由〉

◆関係ない。(2)

〈その他の理由〉

- お金が全てではないが、やりがい生まれる。
- 日本の様々な職種に国籍の違いによる給料の違いがあると聞いているため、同じ額を望む。
- もちろん同じ給料でないとやりたくない。
- 日本での生活は大変なため同じ給料が必要。
- 同じ給料を貰えるなら、日本での生活が楽しく思える。
- 私の生活があるから必要。
- 日本人と同じように働きたい。

問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	84	4	1	89
比率	94.4%	4.5%	1.1%	100.0%

〈その他の意見〉

○社会福祉事業は素晴らしい。

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	82	5	2	89
比率	92.2%	5.6%	2.2%	100.0%

〈その他の意見〉

○老人介護教育は母国でも立派なビジネスチャンスだと思う。

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	15	59	12	7	93
比率	16.1%	63.5%	12.9%	7.5%	100.0%

# 在留資格「介護」制度を利用した介護福祉士取得のためのアンケート

【東北多文化アカデミー：回答数16名】

問1 学費の支援があれば日本の「介護」を学びたいですか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	8	8	0	16
比率	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%

〈学びたくない理由〉

- ◆目標ではない。
- ◆看護の仕事をしたい。(2)
- ◆介護に興味はありません。(2)
- ◆すでに奨学金をもらい違う仕事が決まっている。
- ◆違う目標があります。

〈学びたい理由〉

- 老人と話すことが好きなので、やってみたい。
- 老人や体が不自由な人を助けることが好きだからやってみたい。

問2 介護を学ぶ期間中、どのような支援があれば「介護」を学びたいですか？(複数回答可)

	学費	住居	食事	通学	その他	無回答	合計
回答数	12	13	7	9	2	1	44
比率	27.3%	29.5%	15.9%	20.5%	4.5%	2.3%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆給費

問3 学費の支援はどのくらいあれば良いと思いますか？

	全額	半額	一部	無回答	合計
回答数	11	3	1	1	16
比率	68.8%	18.8%	6.2%	6.2%	100.0%

問4 月10万円程度のアルバイト収入を得ながら「介護」を学べるとしたら学びたいと思いますか？

	学びたい	学びたくない	無回答	合計
回答数	9	6	1	16
比率	56.3%	37.5%	6.2%	100.0%

問5 問2を支援した施設で何年間働くことが出来ますか？

	1年間	2年間	3年間	5年間	6年以上	無回答	合計
回答数	2	6	5	2	0	1	16
比率	12.5%	37.5%	31.3%	12.5%	0.0%	6.2%	100.0%

問6 日本人と同じ給料なら介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	10	6	0	16
比率	62.5%	37.5%	0.0%	100.0%

〈働きたくない理由〉

- ◆他のことも体験したい。
- ◆介護に興味はありません。
- ◆病院で働きたい。
- ◆他にやりたいことがあるので、頑張りたいと思う。
- ◆同じ金額が貰えないのは気分が良くない。
- ◆私は、老人を助けるので、同じ給料を払って私も助けてほしい。

問7 母国の家族への支援として、給与の他に家族手当（月3万円程度）があるとしたら日本の介護施設で働いてみたいと思いますか？

	働きたい	働きたくない	無回答	合計
回答数	7	9	0	16
比率	43.7%	56.3%	0.0%	100.0%

問8 日本の「介護福祉士」資格習得を習得して、母国に戻り先生として活躍したいと思いますか？

	思う	思わない	無回答	合計
回答数	9	7	0	16
比率	56.3%	43.7%	0.0%	100.0%

問9 「介護福祉士」の資格を持って帰国する際、どのような支援を希望しますか？（複数回答可）

	旅費	就職先	その他	無回答	合計
回答数	7	12	3	1	23
比率	30.5%	52.2%	13.0%	4.3%	100.0%

〈その他回答〉

- ◆給費と食べ物。

## アンケートの結果について

関係各位の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶びもうしあげます。また、日頃より当老施協の活動推進に当り、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、公益社団法人全国老人福祉施設協議会 老施協総研平成29年度助成金事業により日本語学校に通う、多くの外国人留学生の方々に対し【在留資格「介護」】についてアンケートを実施し、多くの外国人留学生の方々から日本の介護を学びたいと思っていることが分かりました。

しかし、日本の介護を学ぶに当たって、学費と住居の支援があればとの回答が52%となっていることから、支援する制度を行政及び受入施設が構築しなければならないという課題も見えてきました。また、学費の支援については、全額支援してほしいとの回答が65.7%となっており、今後の制度作りは慎重に行わなければならないと思われまます。

そのような中、支援を受けた施設で5年以上働きたいと思っている方が46.5%となっており、施策により安定した人材確保及びサービスの提供が可能になるのではとの期待をもつことが出来ることに加え、給料が日本人と同じなら介護施設で働きたいが69.6%で約7割の方々から期待を寄せていることが解ります。

合わせて、母国の家族に対する「家族手当」として月3万円があれば働きたいが67.3%で、外国人の方々からは手元に毎月いくら残るのかを計算するうえで有効な手当として受入施設にご検討いただきたいと思うところでもあります。

将来、母国に戻って、先生として活躍したいと思っている方が67.3%で多くの方々から母国のためになりたいとの気持ちが垣間見え、母国へ戻る際の支援としては、一番は就職先となっており、55.8%の方々から希望しており、自由回答では、母国で老人ホームを作るための援助をしてほしい等の要望が記載されておりました。

このようなエビデンスから、国・県・市町村・施設が一体となり、日本語学校で学ぶ外国人の方々に対する「介護福祉士」取得支援から【在留資格「介護」】での就職、そして母国での活躍までを視野に入れた「日本語学校→介護福祉専門学校→介護福祉士→就職→母国での活躍」のサイクルが構築されることに期待したいと思います。

平成30年1月31日

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会  
老人福祉施設協議会

事務局長 高 木 健

## 老施協総研 平成29年度調査研究助成金事業

【日本語学校で学ぶ外国人に対する介護に関するアンケート】

- 実施者 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地  
社会福祉法人福島県社会福祉協議会  
老人福祉施設協議会  
会長 石川 博
- 協力団体 〒960-0251 福島市大笹生字向平13-1  
一般社団法人福島県老人保健施設協会  
会長 本間 達也  
〒960-8670 福島市杉妻町2-16  
福島県社会福祉課  
福島県高齢福祉課
- 検討委員 石川 博 (特別養護老人ホーム 相馬ホーム 施設長)  
佐々木 裕 行 (特別養護老人ホーム いいたてホーム 事務長)  
佐々木 清 憲 (一般社団法人 福島県老人保健施設協会 事務局長)  
佐藤 一 也 (社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 事務局次長)  
大塚 美 沙 (社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 嘱託職員)  
高木 健 (社会福祉法人 福島県社会福祉協議会  
老人福祉施設協議会 事務局長)
- 研究委員 遠藤 由貴恵 (特別養護老人ホーム こまち荘 施設長)  
大和田 武士 (デイサービスセンター 人生の里 施設長)  
斎藤 龍 哉 (特別養護老人ホーム 「聖・輝きの郷」 施設長)  
大島 一 浩 (特別養護老人ホーム 会津みどりホーム 施設長)  
金澤 健 至 (特別養護老人ホーム ユーアイホーム 施設長)  
吉田 耕 二 (特別養護老人ホーム さくら荘 事務長)  
永井 隆 浩 (養護老人ホーム 緑光園 生活相談員)  
佐藤 真奈望 (ケアハウス「輝きの郷」 生活相談員)  
菅野 希 美 (特別養護老人ホーム 福寿園 生活相談員)  
佐藤 努 (聖徳荘デイサービスセンター 生活相談員)  
高橋 昭 博 (特別養護老人ホーム ハッピー愛ランドほばら 副主任介護員)



取材・編集・原稿執筆

〒960-0103 福島市本内字南古館20-6  
掃部 郁子

パンフレット作成業者

〒960-8068 福島市太田町27-21  
有限会社 デザイニング マーブル  
代表取締役 渡辺 ひろこ・クリエイティブ部 部長 大内 紀子

取材協力 櫻井 厚志 (特別養護老人ホーム 小峰苑 施設長)

トレス アイリーン ブリオネス (フィリピン出身)

サントス ロックサン ガイ ライゴ (フィリピン出身)

翻訳 OCCUPIED (オキュパイド)

代表 佐藤 遥

監修 小熊 弘人 (特別養護老人ホーム みず和の郷 施設長)

アンケート集計

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会